

## 4489 ママチャリ冬の旅：五稜郭を目指して② 165

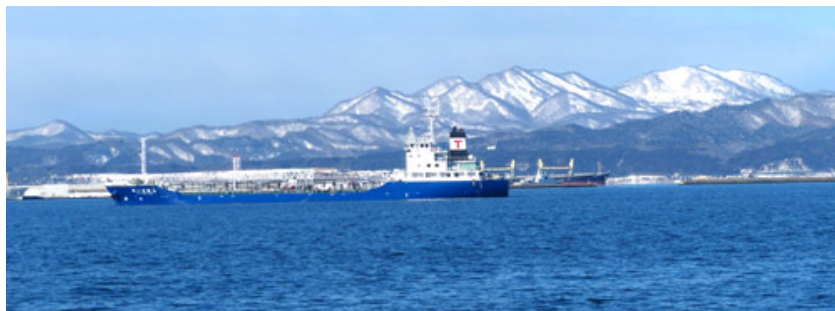
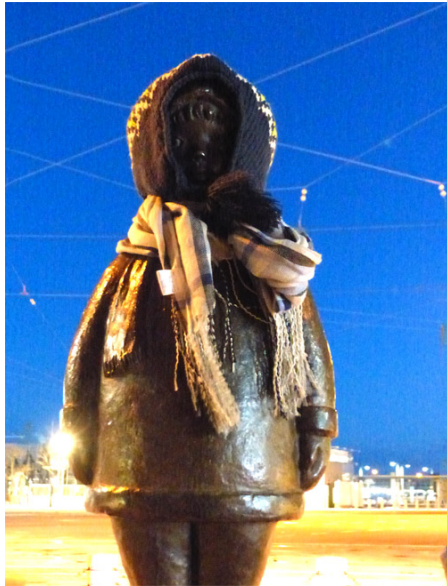
やりたい目標があることの幸せ。健康体と時間を生かして、ワンマントラベルトレーニング。

この後、五稜郭を目指して。思い出をたどった、**晩年の一人旅**。

下記は、相変わらずの道中での出会いの画像記録だが、五稜郭の歴史を思い描きながら、

道中では、何度も道草。歴史を知って、いろいろな出来事を推理するのも一興。

思いを馳せていると、寒さも気にならない。あ～と言う間に、時間が過ぎて行くから不思議。





ここで五稜郭についてのご紹介「**幕末の見果てぬ夢の象徴—五稜郭**」

徳川幕府が、200年以上にわたって行っていた「**鎖国政策**」。1853年、**黒船来航**、  
いわゆる、アメリカ合衆国からの、**ペリー艦隊来航**。

巨大な蒸気軍艦の威容を背景にしたアメリカ側の**開国要求**に屈し、翌年、食糧・薪木などの  
欠乏品の補給や遭難民の保護・引き渡しを保障する「**日米和親条約**」を締結。

伊豆の下田と、蝦夷地の箱館（江戸時代まで）「開港場」とし、  
同年、アメリカに続いて、イギリス、ロシアとも、同様の和親条約を締結したとある。

開港場となる函館では、役所や役宅が密集した市街地では、上陸した外国人に、  
役所が見透かされるという問題や、徳川幕府の威厳の問題、  
そして、港の至近の位置のため、標的になりやすいという防衛上の危機感、等々から移転。

四方に土塁を巡らし、河川から水流を引き込み、建設されたという。  
歴史を紐解くと、日本の国際的な立場や、単なる出会いの風景ではなく、面白い。

